

鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「第2期総合戦略」の全体像

(人口ビジョン：2015年12月策定、第2期総合戦略：2022年3月策定)

第2期総合戦略（2022（令和4）～2026（令和8）年度の5か年）

人口ビジョン

中長期展望（2060年を視野）

I 人口の現状分析

- ◎ 2013(平成25)年度以降、自然動態、社会動態ともに減少
- ◎ 合計特殊出生率は、全国平均を上回ってきたが、2013(平成25)年に1.42となり、全国平均を下回る
- ◎ 若い世代の九州圏や大都市圏への転出が顕著
- ◎ 中長期的には人口減少は避けられず、このまま推移すれば、老年人口すらも減少する本格的な人口減少時代へ

II 人口の将来展望

- ◎ 人口の現状分析や市民意識等調査の結果、本市の特性も踏まえ、目指すべき将来の方向と、人口の将来を展望

1. 目指すべき将来の方向

目指す姿
つながる人・まち 彩りあふれる
躍動都市・かごしま

【基本的視点】

- ① 若い世代を中心とする人口流出の抑制
- ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③ 本市の魅力を生かした交流人口の拡大
- ④ 生涯にわたって生き生きと暮らせるまちづくりの推進

2. 将来展望

- ◎ 2010(平成22)年：約60万人
- ◎ 2060(令和42)年：51.5万人程度
- ◎ 人口構造の若返り

【参考】

- ◎ 社人研推計ベースでは、2060年は41.7万人

基本目標

1. 稼げるしごとで 活力を「つくる」

安定した雇用や地域の活力を生み出す
まちの創造

- 事業所数
27,279事業所 ⇒ 27,300事業所
- 従業者数
274,569人 ⇒ 260,200人

2. 結婚・出産・子育て の希望を 「かなえる」

市民それぞれが希望どおりに家庭を築く
ことができるまちの創造

- 出生数 4,788人 ⇒ 25,000人(5年間)
- 「安心して子どもを生み育てられる環境が整っている」と感じる市民の割合
38.2% ⇒ 46.6%

3. ひとが集うまちの 魅力を「みがく」

“誘客力の高さ”と“滞在満足度の高さ”
を兼ね備えたまちの創造

- 宿泊観光客数
207.6万人 ⇒ 400万人

4. ひと・まちを 多彩に「つなぐ」

持続性と発展性を備えたまちの継承

- 本市の移住関連施策を通じた移住者数
121人/年 ⇒ 600人(5年間)

主な施策と重要業績評価指標(KPI)

重点戦略

重点的かつ先駆的な取組

1. “世界に選ばれるまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト

【ねらい】海外からの交流人口の拡大による地域経済の活性化

(1) インバウンド対応の強化

- ① 各市場の特性に応じた観光プロモーションの展開
- ② 外国人観光客向けの新たな魅力の創造
- ③ 安心快適な受入環境の整備 ④ インバウンド対応人材の育成
- ⑤ クルーズ船の観光客が鹿児島島の魅力を体験できる環境づくり

(2) MICEの積極的な誘致

- ① より経済効果の高いMICEの誘致
- 【KPI】 外国人宿泊観光客数 6.5万人 ⇒ 60万人
- 【KPI】 1人1泊当たりの外国人観光消費額
30,700円/人泊 ⇒ 33,000円/人泊

2. “次代につなぐ ふるさと担い手” 創出プロジェクト

【ねらい】若者の定着、関係人口の創出による地域の将来を支える
人材の確保

(1) ふるさと教育の推進と大学との連携強化

- ① 地域に根ざした特色ある郷土教育の推進
- ② まちづくり提言の機会の創出 ③ 大学との包括連携の推進
- 【KPI】 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した
児童生徒の割合の全国との比較
小6 +1.3、中3 +2.8 ⇒ 小6 +2.7、中3 +6.0
- 【KPI】 大学との新規連携事業・取組数
7件/年 ⇒ 100件(5年間)

(2) 関係人口の創出・拡大

- ① 都市ブランディングの推進 ② 市外在住者への体験機会の提供
- 【KPI】 首都圏等における体験機会となる
イベント等への参加者数 3,629人 ⇒ 80,000人

3. “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト

【ねらい】デジタル技術の活用によるまちの活力や暮らしの質の向上

(1) 地域産業の生産性向上

- ① 中小企業のICT等活用支援 ② ICT関連産業の振興
- ③ スマート農林水産業の推進
- 【KPI】 ICT関連企業の立地協定件数 1件/年 ⇒ 15件(5年間)
- 【KPI】 スマート農林水産業関連技術の導入件数
16件/年 ⇒ 65件(5年間)

(2) 市民生活の利便性向上

- ① 全世代における ICTリテラシー向上の推進 ② 教育の情報化の推進
- ③ ICTの活用による市民サービスの向上
- 【KPI】 授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと
回答した児童生徒の割合の全国との比較
小6 -1.1、中3 +0.4 ⇒ 小6 +2.0、中3 +2.0
- 【KPI】 電子申請利用件数 29,441件 ⇒ 43,000件

積極戦略

人口減少に歯止めをかける取組

(1) 地域産業の稼ぐ力の強化

- ① 地域産業の競争力強化 ② 新事業・新産業の創出支援
- ③ 人材の確保・育成
- 【KPI】 新たな事業展開に取り組む事業者数
17事業者/年 ⇒ 110事業者(5年間)

(2) 魅力的で安定した雇用の場の確保

- ① 企業立地の推進 ② 若者、女性、高齢者等の就労支援
- 【KPI】 企業立地件数 8件/年 ⇒ 40件(5年間)

(1) 若い世代の経済的安定

- ① 若者の就業支援 ② 貧困の世代間連鎖の解消
- 【KPI】 鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま)
管内の新規卒業者の県内就職率 65.1% ⇒ 66.6%

(2) 結婚の希望の実現

- ① 次世代を担う若者のライフプランニング支援 ② 結婚への支援
- 【KPI】 婚活事業への参加者の満足度 86.1% ⇒ 90%

(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- 【KPI】 乳幼児健康診査の受診率 97.8% ⇒ 100%

(4) 子育て支援の充実

- ① 子育て支援施設の整備・充実
- ② 放課後における児童の健全育成 ③ 子育て世帯への経済的支援
- 【KPI】 保育所等・児童クラブの待機児童数 82人・42人 ⇒ 0人

(5) 仕事と子育ての両立

- 【KPI】 男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスを
テーマとしたセミナー等の受講者数 99人/年 ⇒ 550人(5年間)

(1) 個性豊かな資源の価値向上

- ① オンリーワンの魅力創出
- ② 地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用
- ③ 花や緑、公園緑地の充実
- 【KPI】 1人1泊当たりの観光消費額
28,800円/人泊 ⇒ 31,000円/人泊

(2) ひとが集うまちなか環境の充実

- ① 観光客受入体制の充実 ② まちなかのにぎわい創出・回遊性向上
- 【KPI】 中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合
89.4% ⇒ 91.2%

適応戦略

人口減少社会に適応する取組

(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進

- ① 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成
- ② ストックマネジメントの強化 ③ 住宅団地の活性化
- 【KPI】 住宅団地の活性化に向けて地域主体で実施したまちづくり
活動の件数 3件/年 ⇒ 36件(5年間)

(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成

- ① 住民主体の地域づくりの促進 ② 市民との協働の推進
- ③ 多文化共生の推進
- 【KPI】 多文化共生事業への参加者数 1,938人 ⇒ 3,200人

(3) 国内外の都市との連携・交流の推進

- ① 国際交流の推進 ② 国内の都市との連携・交流の推進
- 【KPI】 国際交流事業への参加者数 1,367人 ⇒ 2,120人

(4) 移住の促進

- 【KPI】 移住セミナー等における延べ面談件数
79件/年 ⇒ 800件(5年間)